

平成30年度第1回内灘町地下水採取規制審議会 議事録

日 時 平成30年7月3日(火) 午前10時から

場 所 内灘町役場 4階 408会議室

出席者 ・委員 高野委員、中谷委員、北川委員、松岡委員、坪内委員
川辺委員、亀田委員、一枚田委員、田中委員 計9名
・事務局 上島町民福祉部担当部長、本環境安全課長、
川本課長補佐、甲野主事 計4名
・コンサルタント (株)利水社 真田氏、濱田氏

欠席者 高橋委員

1. 開 会

2. 委員の交代

3. 議 件

(1) 地下水シミュレーションモデルの更新について

事務局より以下の内容について説明

- ・基本予測条件の見直し(消雪の稼働予想)についての説明
- ・影響判定基準の見直しについて

(2) 井戸設置許可申請に係る諮問事項について

事務局より以下の内容について説明

- ・井戸設置許可について

会 長 申請井戸②の塩水化予測評価について、基準地点のiii地点において塩化物イオン濃度の値が他と比べて大きい。地点によって値が違う原因としてどのようなことが考えられるのか。

利水社 iii地点については、放水路に近く、海水の侵入しやすい地形になっていると考えられる。

委 員 消雪する道路の延長はどのくらいか。

事務局 申請井戸①は825m、申請井戸②は828m、申請井戸③は664mです。

委 員 (都市整備部長)

申請井戸④630mです。

会 長 影響予測評価がD判定というものがあるが、町としてどのような節

水対策を考えているのか。

事務局 降雪時のみの散水とし、消雪は交互散水で行いできるだけ節水に努めることになる。

それでは、この井戸について、「資料に記載されている付帯条件」をつけて許可してよろしいですか。

委員 異議なし。

会長 それでは、付帯条件付許可といたします。

(3) その他

委員 今回は4件の井戸を一括して審議をしたが、4本の井戸を掘削するまでに何年かかかった場合に、予測影響評価について状況、条件が変わってくるのではないか。

委員 (都市整備部長)

今年度は申請井戸②1カ所の掘削予定であるが、4本分の補助金要望はしているので、補助金の額にもよりますが数年以内に掘削したい。

委員 1年かけてシミュレーションの更新をしたとの説明であったが、更新にいくらかかったのか。

事務局 約500万円です。

委員 道路の融雪装置の水が出る口が赤くなっているのはなぜか。

事務局 井戸水に鉄分等が多く含まれていることが原因にある。飲用には不向きだが、消雪に利用することは特に問題ない。

委員 今年の冬は大雪だったが、住民も高齢化の為、道路の雪かきをすることが困難になっている。地区内の生活道路に消雪を設置して欲しいという要望を出したいが実施は難しいのか。また近隣自治体では、民間の井戸を活用して消雪をしている例もあると聞いている。

事務局 限りある地下水であり、簡単に許可ということにはならないと思われる。既存の井戸の活用も1つの方法。今後も地下水の保全に努めたい。

会長 ご意見、ご質問は以上でよろしいでしょうか。ないようでしたら、これで、今回の議件はすべて終了しましたので、これにて閉会といたします。本日はありがとうございました。

閉会時刻 午前11時